

担当：札幌市消費者センター調査指導係 TEL 728-2111 FAX 728-2112

平成 20 年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通しについて

札幌市では、生活に密着した食品や石油製品等の物価の動向を的確に把握し、市民に情報提供していくため、生活関連商品価格動向懇談会を開催し、年末年始における生活関連商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

記

1 協力を得た業界団体及び事業者

- | | |
|-----------------|------------------------|
| (1) カネシメ高橋水産㈱ | (5) ホクレン農業協同組合連合会 |
| (2) 札幌食肉卸業協会 | (6) 社)北海道エルピ°-ガス協会石狩支部 |
| (3) 札幌地方石油業協同組合 | (7) 北海道製麺協同組合 |
| (4) 日糧製パン㈱ | (8) 丸果札幌青果㈱ |

2 調査時期

平成 20 年 12 月上旬（平成 20 年 12 月 15 日、上記団体と懇談会を実施）

3 概要

(1) 青果物

石油製品の価格は下がっているが、資材、輸送費、肥料などは下がっておらず、生産地でも厳しい経営が続いている。

価格見通しが「前年並み」の品目が 8 品目で最多となった。しかしながら、入荷量の減少が見込まれる品目を中心に、「やや高値」「高値」が 7 品目あり、中でもみかんとはくさいは「高値」となった。

安値・やや安値	前年並み	やや高値・高値
(3 品目) 長ねぎ、れんこん、 きゅうり	(8 品目) 生しいたけ、みつば、 だいこん、たけのこ(缶詰)、 ほうれん草、ばれいしょ、 たまねぎ、さつまいも	(7 品目) にんじん、ごぼう、里いも、 きゃべつ、レタス、みかん はくさい

(2) 水産物

水産物全般について、世界的な魚食ブームもあり、海外からの輸入品は高値に移行しつつあったが、秋以降の世界的な経済状況の悪化を背景に、海外ものが再び日本に

入ってくる状況になりつつある。今年9月まではやや高値で推移してきたものが、年明け以降は落ち着いた価格になる見込みである。

価格見通しが「安値」「やや安値」の品目はなく、「前年並み」が6品目、「やや高値」「高値」が8品目となった。特に道内の秋さけの水揚げ減少により、新巻さけは「やや高値」、いくらは「高値」となった。

安値・やや安値	前年並み	やや高値・高値
(0品目)	(6品目) 飯寿司、いか、赤えび、 はまち、ほたて、 スモークサーモン	(8品目) 新巻さけ、味付数の子、 まぐろ、たこ、こんぶ、 板かまぼこ、いくら、 たらばがに

(3) 畜産物

価格見通しが「前年並み」もしくは「やや安値」「安値」の品目が大多数であるが、国産鶏肉のみ「やや高値」となった。しかしながら国産鶏肉についても、飼料価格の値下げが予想されるため年明け以降については、安い価格帯へ向かう見込みである。

安値・やや安値	前年並み	やや高値・高値
(4品目) 国産豚肉、輸入豚肉、 輸入牛肉、輸入鶏肉	(2品目) 国産牛肉、ロースハム	(1品目) 国産鶏肉

(4) その他食料品

小麦の世界的な価格は反落傾向にあるが、輸入小麦は全量をいったん政府が買い取り、製粉会社等に販売する。国内での政府からの売渡価格は年2回改定され、次の改定時期である4月までは、小麦粉等は高値が予想される。

価格見通しが「安値」「やや安値」となった商品はなく、生そば、そば粉、ラーメン、小麦粉は「高値」となった。

安値・やや安値	前年並み	やや高値・高値
(なし)	黒豆、鶏卵、パン	もち米、生そば、そば粉 ラーメン、小麦粉

(5) 石油製品

灯油、レギュラーガソリン、軽油は、原油価格の下落により価格見通しはいずれも「安値」となった。

プロパンガスは、年末年始の価格見通しは「やや高値」であるが、年明けの2月もしくは3月以降に値下げとなる見込みである。

また、供給量については十分に確保されている。

※ 価格見通しの用語基準

前年並み	=	前年同期比±5%未満
やや安値・やや高値	=	前年同期比±5～15%未満
安値・高値	=	前年同期比±15%以上

平成20年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目	価格見通し	需給動向		
青	安値	(北海道産もの) 作況は生育期の天候に恵まれ生育良好で、順調な入荷が見込まれる。価格は前年に比べ安値が見込まれる。		
		(本州産もの) 作況は生育期の天候不順の影響により生育の遅れと品質低下が見られ、入荷量は前年に比べ増加が見込まれる。価格は前年に比べ安値が見込まれる。		
	れんこん	やや安値	作況は生育期の天候に恵まれ生育順調で大振傾向となり、入荷量は前年に比べやや増加が見込まれる。価格は前年に比べやや安値が見込まれる。	
	きゅうり		原油高騰により加温の節約から生育にばらつきが見られるが、入荷量は前年並みが見込まれる。	
	生しいたけ	前年並み	作況は生育順調で入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。	
	みつば		作付は各産地とも前年に比べ減反傾向。作況は概ね順調だが、一部品質低下が見られ、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。	
	だいこん		作付は各産地とも前年並み。作況は生育順調で入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。	
	たけのこ(缶詰)		中国産の孟宗筍は生育期の天候に恵まれ生育順調となり、数量、価格とも前年並みが見込まれる。	
	ほうれん草		作況は各産地とも生育期の天候に恵まれ生育順調で、入荷量は前年に比べやや増加が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。	
	ばれいしょ		作付は各産地とも前年並み。作況は各産地とも生育期の早魃の影響から小玉傾向となり、入荷量は前年に比べやや減少が見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。	
	たまねぎ		作付は各産地とも前年に比べやや増反傾向。作況は各産地とも生育順調でL大～L中心となり、入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。	
果	やや高値		さつまいも	作況は各産地とも生育順調で、入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年並みが見込まれる。
			にんじん	作付は前年並み。作況は生育期の天候不順の影響により、生育の遅れと小振傾向からM～S中心となり、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。
		ごぼう	作付は各産地とも前年に比べ増反傾向。作況は十勝ものは生育期の天候不順の影響により細身傾向が見られるが、その他の産地は生育順調でL～M中心となり、出荷量は前年並みが見込まれる。価格は各産地とも前年に比べ、やや高値が見込まれる。	
		里いも	作付は各産地とも減反傾向。作況は各産地とも生育順調で大玉傾向となるが、作付減反により入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。	
		きゃべつ	(北海道産もの) 作況は生育順調で貯蔵量前年並みで、順調な入荷が見込まれる。価格はやや高値が見込まれる。	
			(本州産もの) 作況は各産地とも生育期の降雨の影響から小玉傾向となり、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。	
レタス	作況は各産地とも定植の遅れと生育期の低温の影響により、生育に一週間程度の遅れが見られたが、その後回復し入荷量は前年並みが見込まれる。価格は前年に比べやや高値が見込まれる。			

平成20年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
物	みかん	高値	作況は各産地とも玉肥大良く、概ねL～M中心となるも、各産地とも裏年のため着果量少なく、入荷量は前年に比べ20～30%の減少が見込まれる。価格は各産地とも前年に比べ高値が見込まれる。
	はくさい		作付は前年に比べやや減反傾向。作況は生育期の降雨の影響により、生育不良と品質低下が多く見られ、入荷量は前年に比べ減少が見込まれる。価格は前年に比べ高値が見込まれる。
水	飯寿司	前年並み	正月商材として人気抜群。原料高もあるが、企業努力により前年並みの価格で対応。
	いか		順調な水揚があり、相場も安定している。今年いっぱい安定した価格で推移する予想。
	赤えび		一部の天然物を除き、昨年並みで推移する傾向。特に養殖物は円高の影響もあり、値頃感がある。
	はまち		今年の6月に卸値で最高値となったが、その後は弱含みで推移。年末には昨年並みの価格ができる。
	ほたて		生産数量も順調に推移しており、価格も安定している。このまま、前年並みで推移する予想。
	スモークサーモン		元来、価格変動の少ない商材で、本年も前年並みの価格で推移する予想。
産	新巻さけ	やや高値	北海道の秋鮭の水揚減で価格上昇中。特に大型の新巻さけは品薄感から高値推移の予想。
	味付数の子		原料価格のアップ及び大幅なコストアップがあり、昨年より小幅の値上げとなる。
	まぐろ		世界的なまぐろ類の漁獲規制により、日本への搬入量は減少傾向にあり、やや高値での推移となる見通し。
	たこ		国産のたこは水揚不振により品薄状態にあり、前年よりやや高値で推移中。
	こんぶ		漁獲量がやや減少傾向にあり、昨年よりはやや高値で推移中。
	板かまぼこ		原料(すり身)の高騰により、商品の価格もやや高値の傾向で推移中。量目変更等で対応している。
物	いくら	高値	北海道の秋鮭の水揚減が響き、卸値で20～30%の価格上昇。人気商材でもあり、引き合いは強い。
	たらばがに		ロシア産たらばがにの水揚激減で高値で推移中。年末需要旺盛な商品だけに、引き合いは強い。
畜	国産豚肉	安値	値頃感から売行き良好、出荷増による先安感有り。安値であれば、国内物に人気有り。
	輸入豚肉		国産の売行き良好傾向にあるため、安くても動きが鈍い。
	輸入牛肉	やや安値	海外現地相場暴落と円高で、薄切り系(モモ、肩)中心で安値訴求、なお、先安感有り。
産	輸入鶏肉	前年並み	業務筋中心、一般小売では人気なし。
	国産牛肉		切り落としなど安値中心。ステーキ等高級部位の売れ行き不調。
	ロースハム		材料となる輸入豚肉に頼っており、年末は従来通り。しかし先安感あり(特に来年夏以降)。
物	国産鶏肉	やや高値	飼料高が出て安くならない。ただし、価格帯は肉の世界では一番安いので、そこそこ売行きは良好(偽装無し)。

平成20年度 年末年始における
生活関連商品の需給・価格見通し

品目		価格見通し	需給動向
その他 の 食 料 品	黒豆	前年並み	旧殻の繰越在庫は過剰であるものの、新殻の出回り量は適正であり、価格は前年並みが見込まれる。
	鶏卵		例年、年末特需で価格は上昇するが、需要失調のため、現行価格維持程度。年末相場については、全国的に余剰傾向であり、道内も安値での推移となる見込み。
	パン		製パン業界では過去2回、価格改定を実施し、平均価格は一時的に上昇したが、その後、低価格帯へのシフトや新製品による入れ替え等により、前年よりも+5%未満の推移ではほぼ前年並み。
	もち米	やや高値	20年産もち米生産量の減少、世界的食糧事情の悪化、事故米流通の問題等の影響により市中相場は高騰した。北海道もち米についても、全農価格を物材費高騰を背景に価格を上げた経過にあり、全国的にも同様の背景により価格を上げた経過にある
	生そば	高値	輸入そば粉、麺のつなぎに使う輸入小麦の値上がりにより、価格は高値が見込まれる。
	そば粉		輸入そば粉の主力である北米・カナダ産が原油高による生産コスト増で値上がりしたこと、またバイオエタノールの原料となるトウモロコシ等への転作による品薄傾向もあり、価格は高値が見込まれる。
	ラーメン		輸入小麦の政府売渡価格が、今年も春、秋の2回値上げしたことに連動して、国産小麦も値上がりし、その他添加物、包材もすべて値上がりしていることにより、高値が見込まれる。
	小麦粉		小麦をはじめ世界的な穀物相場の高騰のピークは過ぎ反落傾向にあるが、国内の小麦の価格については、麦類の政府売渡制度により来春までは高値になる。ただし、緊急経済対策の一環として様々な検討がされているが、現段階では不透明である。
石油 製 品	灯油	安値	原油価格の急速な下落により、年末にかけて安値で推移すると見込まれる。石油元売会社が生産調整していること、OPEC(石油輸出国機構)が減産の動きをしているなど、年明けについては不透明である。在庫は充分にあり、供給不足の懸念はない。
	レギュラー ガソリン		
	軽油		
	プロパンガス	やや高値	輸入価格の値下がりでも小売価格は今後下がるが、来年2月～3月からで、やや高値で推移すると見込まれる。供給量は確保されており、供給不足の懸念はない。

価格見通しの用語基準

前年並み＝前年同期比±5%未満
 やや安値・やや高値＝前年同期比±5～15%未満
 安値・高値＝前年同期比±15%以上